

週刊 女川湾海況速報 (No.27)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

1 月 21 日から 25 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降。経時的には 22～23 日に表層(0m)及び底層(6m)で下降した後、徐々に上昇。塩分は表層で 22 日に下降したが、底層ではほぼ一定の値(33.6～33.7 パーミル)を維持。23 日以降の水温の上昇は外洋水の影響によるものと推定。

水深 [m]	1月21日 (月)	1月22日 (火)	1月23日 (水)	1月24日 (木)	1月25日 (金)
0	8.2 (33.6)	7.9 (33.3)	8.1 (33.6)	8.2 (33.6)	8.4 (33.6)
6	8.2 (33.6)	8.2 (33.6)	8.1 (33.6)	8.3 (33.6)	8.4 (33.7)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル(千分率)。1 パーミル = 1PSU (実用塩分単位)。

*22 日は水深 7m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には全層で 23 日に上昇した後(3.7FTU 以上)、徐々に下降。(単位は FTU)

水深 [m]	1月21日 (月)	1月22日 (火)	1月23日 (水)	1月24日 (木)	1月25日 (金)
0	1.1	1.1	3.7	2.3	1.1
6	1.1	1.1	5.5	2.2	1.3

③溶存酸素：先週と比較して下降傾向にあるものの、9～10mg/l 台を維持。経時的には 25 日に全層で 0.3mg/l の顕著な下降。

水深 [m]	1月21日 (月)	1月22日 (火)	1月23日 (水)	1月24日 (木)	1月25日 (金)
0	10.0	9.7	9.8	9.8	9.5
6	9.9	9.9	9.6	9.9	9.6

単位は mg/l。水産用水基準(水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 7.9～8.4℃、33.4～33.7 パーミルの範囲にあり、鉛直的には水深とともに上昇。10m 以深の 33.7 パーミル以上の高塩分水は外洋水と推定。濁度は 1.2～3.4FTU の範囲にあり、表層で最大。溶存酸素は 9.7～10.3mg/l の範囲にあり、表層で最小。

1 月 23 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	7.9	33.4	3.4	9.7
5	8.3	33.6	1.5	10.0
10	8.4	33.7	1.2	10.3
15	8.2	33.7	1.6	10.1
20	8.3	33.7	2.1	9.8

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。